

# おおふな

ふれあいのまちづくりを目指して



〈発行人〉

伊勢 拓人

〈編集〉

地区社協 だより

おおふな編集委員会

〈連絡先〉

鎌倉市大船 2-1-26 大船支所内

0467-45-7711

大船地区社協だより 50号に寄せて

鎌倉市社会福祉協議会 会長  
兵藤 芳朗

大船地区社会福祉協議会 だより『おおふな』50号の刊行を祝し、関係者の皆様に深く敬意を表します。



鎌倉市社会福祉協議会は、大船地区など9地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、自治会町内会、鎌倉市など関係団体やボランティアの皆様と協働して「みんながつながる、支え合い、助け合うまち かまくら」を目指しています。

鎌倉市社会福祉協議会では、ここ大船地域においても、福祉の原点である誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていくだけのよう、伊勢会長をはじめ大船地区社会福祉協議会の皆様と一緒に活動してまいります。

本年は「卯（うさぎ）年」。コロナ禍等厳しい社会状況においても、この一年が大船地区社会福祉協議会にとって飛躍する年となりますようお祈り申し上げます。

大船地区社協だより 50号発刊を記念して

大船地区社会福祉協議会 会長  
伊勢 拓人

この度、大船地区社協だよりの発行が50号を迎えることとなり、これまで、原稿執筆・編集・発行に携わってこられた皆様に深く感謝申し上げます。

これからも地域の大切な情報紙として継続されることを祈念しております。

大船地区社協は発足してから64年を迎えており、今まで地域福祉の向上の為、種々活動を重ねてきました。これも地域の方々の暖かいご支援があったからこそだと思います。ありがとうございます。

今私たちは、健康に楽しく過ごしていく地域を創造するために、「外出・交流の促進により健康生活を延ばすまち「大船」に向けて」をスローガンとして、色々な新たな活動を検討しています。順次皆様にご案内いたしますので一緒に活動ていきましょう。今後とも皆様のご支援をお願いし挨拶とさせて頂きます。



社協だより『おおふな』は1997年12月1日に第1号が発刊されました。「ふれあいのまちづくり事業」のモデル地区として、地区社協・自治会町内会・民生委員・ニーズ対応チーム（ボランティアセンター）での取り組みを推進しようとする、まさにそのタイミングでの創刊でした。

以来25年、今回50号を迎えました。各号の主な見出しに地域福祉の歩みを辿ってみたいと思います。

1998年	大船地区社協が「ふれあいのまちづくり事業」推進のモデル地区に
1999年	介護保険制度スタートまであと1年！
2000年	ふれあいのまちづくり 大船地区社協の取り組み経過と課題（モデル3町・見守りチーム／見守りネットワーク／助っ人会／ふれあいサロン）
2001年	のびのび子育て（第八地区民生委員）
2002年	地域福祉講座 「寝たきりにならないために」
2003年	鎌倉女子大学大船キャンパス4月開設／大船まつりイベント企画中
2004年	生きがい対応型デイサービス 「プランチ・大船」がスタート
2005年	第2回大船まつり2万人が参加、大盛況
2006年	地域福祉懇談会－ボランティア座談会（自治町内会長・民生委員・ニーズ対応チーム・市社協職員）

2007年	地域の力で豊かな未来を／地域の拠点としての支所の役割（大船支所長）
2008年	新たな活動を検討しています（大船地区ボランティアセンター）
2009年	ボランティアセンター・リニューアルオープン 平成20年10月1日スタート
2010年	鎌倉市社協研修報告 「地域福祉と個人情報の保護」
2011年	東日本大震災救援合同バザーに参加／私たちにできること
2012年	陸前高田を訪問して（大船地区ボランティアセンター）
2013年	第七地区第八地区民児協、相次いで被災地訪問！宮城県山元町・宮城県石巻市
2014年	子育てサロン紹介 小坂子ども会館オープン
2015年	大船地区社会福祉協議会60周年記念大会



2016年	感謝！大船福祉まつり（10月24～25日）1500人超の来場／大船行政センターに新しい壁画が完成しました
2017年	くまモンを迎えて 第14回大船まつり大盛況
2018年	いまいすみ子どもの家 オープン 日赤共同募金奉仕者研修会「かまくらささえあえ福祉プラン・大船地区懇談会」
2019年	災害時に備える「安心カード」を活用しよう／日赤共同募金奉仕者研修会「共生社会の実現を目指して」協議体とは「大船協議体の検討会発足について」（大船地区社協会長）
2021年	懇談会「コロナ禍における自治町内会の活動と課題」（自町連）
2022年	

シリーズとして、町内会や自治会をそれぞれの会長から紹介、全部で32回となり一巡したところです。また、3年ごとの改選に伴い「あなたのまちの民生委員児童委員をお知らせします」と町ごとの担当者と連絡先をお知らせしています。さらに地区内の地域包括支援センター「ふれあいの泉」「きしろ」、老人福祉センター「今泉さわやかセンター」の活動の

様子や利用の仕方などもそれぞれ担当者からお知らせ頂きました。

多様に変化する町の様子や制度、まだまだ多くの情報を地域の皆さまにお届けしなければならないと思う一方、地域の皆さまの声をお聞きし伝える情報紙として展開していくことが今後の課題だと考えています。

（北村 記）



# 大船福祉まつり 大船小学校にて

昨年10月22日・23日、第31回大船福祉まつりを開催しました。昨年一昨年とコロナ禍で開催を見合わせていましたが、今回は3年ぶりの開催となりました。

会場は、大船行政センターが工事中のため、大船小学校の体育館とピロティ前広場をお借りしての実施となりました。慣れない会場でしたが、設営等多くの方々にご協力いただきスムーズな運営ができました。

体育館ではバザーをはじめ地域作業所の物品販売、地域包括支援センターの健康相談・防災グッズの展示・

市主催のスマイルフードプロジェクトPRコーナーなどと盛りだくさん！

ピロティ前の子ども向け広場にはテントを設営、ボーイスカウトや防犯協会のブースも加わり様々なコーナーが開設され、子どもたちの笑顔が印象に残ったイベントとなりました。

今後も次世代を担う地域の子どもたちが福祉に関心を持つきっかけになるような企画をしていきたいと思いました。

実行委員長 角田孝子



今回の会場は、いつもの大船支所が改修工事で使用できなくなったため、大船小学校で行うことになりました。そのうち体育館は10月22日の朝から自町連や七区・八区民児協から大勢のひとが集まって床の保護シート張りや備品類の設置などの会場設営が一気に行われました。ピロティ前会場を開設した子どもコーナーでは22日と23日の2日間たくさんの来場があり、久々に子ども達の元気な姿と声をきくことができ大いに盛り上がりを見せました。

(自町連・秦)

# 「大船いきいきプロジェクト」です

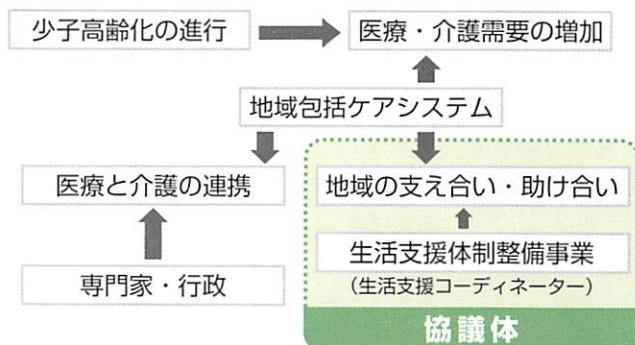
よろしくお願ひいたします

前委員長 川田順一

皆さんは、大船地区社会福祉協議会の中で「大船いきいきプロジェクト」が活動していることを存じですか。正式名称は、大船地区社会福祉協議会協議体といいます。「協議体」なので何かを話し合う会議なのかな?」「いきいき」だから健康に関係あるのかな!」と思った方は花丸(はなまる)です。

少子高齢化が進むなか、国は高齢者が要介護状態になっても、住み慣れた地域で自分らしい生活を最後まで続けることができるよう、医療と介護の連携を図るとともに、地域内で助け合う体制の構築を目指しています。人は年齢を重ねると身体機能や認知機能が低下してきますが、これらの人たちを医療や介護だけでは支えられるものではなく、地域の支え合い・助け合いにより支えようとするものです。それを「協議体」というかたちで体制づくりを進めようとしています。

鎌倉市は、「協議体」は市内5行政区ごとに設置することを目指しており、大船地域については、大船地区社協が「協議体」に取り組むこととなり、令和3年7月に「大船いきいきプロジェクト」を立ち上げて活動を開始しました。



鎌倉市社会福祉協議会 大船地区生活支援コーディネーター  
佐藤暢之 (社会福祉士)

私、昨年の10月より生活支援コーディネーターとして大船地区を担当させていただいております佐藤暢之と申します。「地域支え合い推進員」として、地域の皆さんと共に考え、努力し、役割を果たして参りたいと思います。

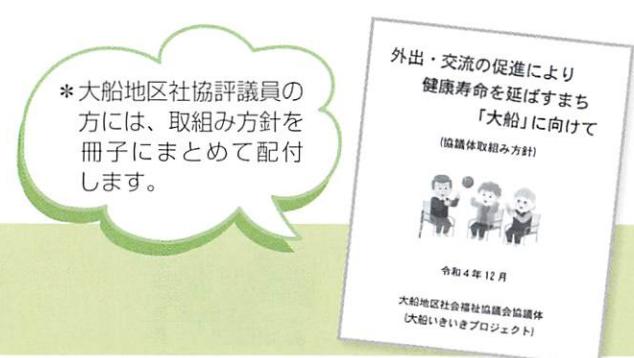
大船地区ではこの1年ほど「大船いきいきプロジェクト」において話し合いを重ね、「外出・交流の促進により健康寿命を延ばすまち大船」の実現に向けてこの春より具体的な取り組みを進めていくこととなりました。

このプロジェクトは、自治町内会・民生委員児童委員協議会・大船ボランティアセンター・地域包括支援センターなどが参加して、地域の福祉活動の調査やアンケートを実施したほか、大船で「何が出来るのか」「何が必要なのか」を話し合い、「高齢になつても元気で要介護高齢者とならない取組みが必要である」との結論に至りました。つまり、「健康寿命を延ばす」ということです。ただし健康寿命を延ばす方法はいくつかありますが、当プロジェクトとしては「人との交流が大切」との考えを基本として活動を進めることとし、以下の3つの項目を中心に取組むこととしました。

- サロン・サークル活動の充実
- 外出促進
- 買物(外出)支援

これらの取組みの具体的な活動の第一歩として、多くの人が所有し活用していく、人との繋がりのツールとなるスマホの使い方教室を、主に高齢者を対象に、大船地区にあるいくつかの町内会館で開催することとし、現在準備を進めています。

今後は、健康寿命を延ばすまち大船の実現に向けて、様々な具体的な取組みを展開していく予定ですので、皆様のご理解ご協力をお願いします。



まずは、外出促進・サロン活動の充実に注目し、スマホの使い方を学ぶ教室をサロンとして大船地区のいくつかの拠点で開催する予定です。

健康寿命を延ばすためには、運動や食事以外にも、積極的な外出、社会参加が非常に大切なこととなります。スマホ・サロンの目的は、皆様が少しでもスマホが使えるようになることだけではありません。スマホ・サロンに参加してお互いに話することで、外出が促進されるだけでなく、人と人とのつながりが深まり、社会参加ができるようになることと考えています。

## 大船地区ボランティアセンターの活動紹介

- ① 高齢や障がいなどで作業の支援の必要な方のお手伝い、庭木の刈込や除草、家具の移動や片付け・掃除、電球交換等・高所での作業など
- ② 福祉施設などでリクレーションや作業の手伝い
- ③ 地区社協で貸し出している車いすの清掃・整備
- ④ サロン活動

**みんなのサロン**：毎月第一火曜日の 13～15 時

手作りの小物・飾り物等の創作をしながら  
茶話会を行っています。

**土曜サロン**：毎月第三土曜日の 13～15 時

気になる話題を持ち寄りおしゃべり会

これまで「鎌倉殿の十三人」を話題に武家社会の成立や大船のゆかり地域、老後の生活習慣・福祉活動、IT 学習やスマホ利用の基本などをテーマに学習会や話し合いを開催しています。

\*興味ある方はどなたでも、お出かけください。

ボランティアセンターでは、基本毎週 火・土曜日の 10～12 時、事務所にコーディネーターが待機して皆様からの相談や作業の依頼を受け付けております。(他の時間は、FAX／留守電対応)

また、ボランティア活動に興味ある方もご連絡ください。  
(塚谷 記)

大船地区  
ボランティアセンター

◆大船 2-7-8  
◆電話 & FAX 48-1191

## 地域の子育てサロン

主任児童委員（民生委員児童委員）が主催する子育て支援活動です。  
親子で楽しく遊びながら、子育てで困っていることや知りたいことなど  
お話ししましょう。当分の間、コロナ感染対策の為のご協力をお願い  
いたします。予告なく変更となる場合がありますので、ご確認ください。

問合せ先 ◆生活福祉課 0467-61-3958  
◆http://kmspot.kids.coocan.jp/minsei.html

鎌倉市 公式 LINE : @kamakuracity



子ぶくろ家 ★第七地区

対象 0歳～未就園児の親子  
場所 小袋谷公会堂  
日時 第3火曜日  
10:00～11:00



★今年度はフリースペース♥ (予約不要・予定変更有)

のびのび子育て ★第八地区

対象 0歳～未就園児の親子  
場所 岩瀬公会堂など  
日時 第2水曜日  
10:15～11:30頃迄



★状況により予約制となる場合があります

### 市政功労者表彰

\* 地域生活功労  
秦 豊昭  
(つるまい町内会)  
\* 社会福祉功労  
塚谷 進一  
田中 黎子  
(大船地区ボランティアセンター)



### 自治会町内会長表彰

高木 総一郎  
(山ノ内明月会町内会)  
田子 祐司  
(大船町内会)



### 車いすの貸出（無料）

- ◆申し込み  
大船行政センター 支所窓口
- ◆1回の貸出期間  
原則1か月以内



### 社協の活動充実のためご協力をお願いいたします。

- ◆会費年額  
1口 = 1,000 円  
個人賛助会員 1口以上  
団体賛助会員 3口以上



### 20周年記念 大船まつり

5月 21 (日)  
開催予定

### 編集後記

大船地区社協の広報紙『おおふな』もお陰様で50号を迎えることが出来ました。今後も地域の福祉にかかわる情報をより詳細にお伝えするとともに、皆さまのご支援ご協力をおねがいいたします。  
(喜多 記)

# あなたの町の民生委員児童委員をお知らせします

保存版

民生委員は「民生委員法」および「児童福祉法」に基づいて厚生労働大臣・県知事・市長から委嘱を受けて活動する特別職の公務員です。任期は3年で昨年12月1日に全国一斉改選が行われ、大船地区では新任者15人を含む50名が第七地区と第八地区に分かれて活動しています。日常生活での心配事やお困りのこと、子育ての不安に関することなど、お気軽に担当地区的委員にご相談ください。

(□:新任) 令和4年12月1日現在

第七地区 (山ノ内・台・小袋谷・大船・高野)		
担当区域	氏名	電話
山ノ内・上	西川 薫	38-7013
山ノ内・中の南	大貫 正廣	22-9004
山ノ内・中の北／明月会	原田 和男	080-6889-0297
山ノ内・瓜ヶ谷	加藤 しのぶ	25-3218
山ノ内・下の下	吉田 元枝	080-6520-7188
山ノ内・下の上、中	吉田 久実子	46-3869
台・西之台	室賀 正徳	46-2908
台・本村	橋本 等	090-4946-6012
市場	梅澤 つえ	46-2831
未広町	鈴木 恵子	39-6727
戸ヶ崎／台二・三・五丁目の一部	伊勢 久美子	43-2725
戸ヶ崎・あけぼの／台四丁目	田中 茂	45-7089
富士見町・西	平井 雅明	46-6798
富士見町・東	角田 孝子	43-3721
小袋谷一丁目／大船三丁目の一部	川田 順一	53-7025
小袋谷二丁目南	吉野 隆	46-6050
小袋谷二丁目北	内田 直生	46-4424
栄町	喜多 敏憲	44-2738
高野台	川畠 富美子	44-6307
大船・東	林 信	45-3650
大船・西	藤本 真枝	44-3166
大船・南	関谷 淑子	45-4175
大船・北	岡 宏	46-3275
主任児童委員	薦田 亜希子	40-4046
主任児童委員	村田 弥生	67-4724

第八地区 (大船・岩瀬・今泉・今泉台)		
担当区域	氏名	電話
大船東口／駅前通り／仲通り一部	高木 邦仁	46-3505
梅田／仲通り一部	宇田 博	46-3790
松竹前／田園	仙場 佳恵	090-9306-7830
離山・東	樋口 智子	44-5358
離山・西	三橋 あい子	46-6907
谷の前・大船の一部	金子 扶美子	44-9022
大船六丁目北	下川 知鶴子	45-5686
岩瀬・上の上一	鈴木 和弘	45-2387
岩瀬・上の上二	福永 紀子	84-8381
岩瀬・上の中	大塚 真理子	47-0778
岩瀬・上の下	園山 裕子	48-6471
岩瀬・平島	晴山 節子	43-0554
岩瀬・下の上	吉原 弘晃	46-4567
岩瀬・中町	鈴屋 三郎	080-6637-8414
岩瀬・下の中	根岸 純子	47-5883
岩瀬・下の下	新海 ひろ子	43-6236
今泉・下	保田 信彦	45-0316
今泉・上	藤原 文子	090-2678-7746
今泉台一丁目・二丁目	尾島 珠世	45-0414
今泉台三丁目／山ノ内一部	柴田 正子	44-5002
今泉台四丁目	田島 幸子	44-4843
今泉台五丁目・六丁目	栗田 緑	43-6543
今泉台七丁目	平石 美緒	46-0368
主任児童委員	池田 昭子	43-5254
主任児童委員	中村 みゆき	48-5590

# 地域住民の身近な相談相手

## 民生委員児童委員の活動

- 様々な援助を必要とする人の地域での生活上の悩みごとの相談
- 地域福祉を推進する担い手としての活動
- 保健・福祉制度やサービスの情報提供と利用の援助
- 地域の児童の福祉向上のための活動



## 主任児童委員の活動

- 児童に関する問題を主に担当する委員で、地域での相談相手
- 児童相談所、子ども相談室との連携協力
- 子育ての支援活動
- 地域の子どもが健やかに育つためのお手伝い



子ども会館・公会堂などに親子で遊べる場を設けたり、子育て情報を提供しています

民生委員児童委員・主任児童委員は、相談内容や相談相手のプライバシーに関して知り得た情報について、秘密を順守することが法律で義務づけられています。安心してご相談ください。

## 大船地域包括支援センター

介護・健康・保健などのよろず相談所

名称・連絡先	担当地区	開設時間
きしろ 大船 1273-1	山ノ内・台（一丁目を除く） 小袋谷・大船（一丁目～六丁目を除く） 高野	月曜日から土曜日（祝日可） 9:00～17:30
ふれあいの泉 今泉 2-4-10	大船（一丁目～六丁目） 岩瀬・今泉・今泉台	月曜日から土曜日 8:30～17:00